

# おおたの教育

第123号

大田区教育委員会広報

平成27年(2015年)  
4月1日発行

今号の主な内容

- 1面 放課後子ども教室の実施
- 2面 平成27年度教育予算のあらまし
- 3面 教育委員会の組織が変わります
- 4面 小学生駅伝大会・中学生「東京駅伝」が開催されました

発行/大田区教育委員会 〒144-8623 大田区蒲田五丁目13番14号 TEL.03-5744-1111(代表) HP <http://www.city.ota.tokyo.jp/kyouiku>

## 放課後子ども教室

大田区は、区立小学校において、学童保育事業と放課後子ども教室事業を一体として小学校における放課後児童の居場所づくり事業を平成27年度から実施します。学童保育事業は、就労等のため昼間保護者のいない家庭の児童の安全と健全育成を図る保育事業です。放課後子ども教室は、全児童を対象に、小学校の余裕教室等を活用して安全・安心な居場所を確保す

るとともに、多様な体験・活動を通じて自主性や社会性を育むことを目的とした事業です。平成27年度の開設は、学童保育事業と放課後子ども教室事業を一体的に実施する14校のほか、当面の間は放課後子ども教室を単独で実施する9校です。平成28年度以降も順次開設していきます。

### 1 放課後子ども教室概要

放課後子ども教室		
目的	1 放課後の児童の安全・安心な居場所を確保します。 2 多様な体験・活動を通じ、児童の自主性や社会性を育みます。 3 地域社会の中で、児童が健やかに成長できる環境づくりを推進します。	
対象	実施校に在籍する児童（1年～6年生）	
場所	教室等を活用して実施 (校庭、体育館、多目的室等)	
実施日時	一体型（注1）	学校開校日（平日）放課後～17時 学校休業日（夏休み等）9時～17時 ※11月～2月は16時30分まで ※土、日、祝日、年末年始は実施しません ※単独型は学校休業日（夏休み等）は実施しません
	単独型（注2）	学校開校日（平日）放課後～17時
開始日	一体型	平成27年4月7日 ※新1年生は集団下校期間終了後から利用開始 ※嶺町小は平成27年10月5日開始
	単独型	平成27年5月7日
事業内容	児童が主体的に遊び・学ぶ場の提供 月1、2回プログラム（工作や昔遊び等）を実施	
実施・運営	教育委員会が民間事業者に委託して実施します。（おおたっ子ひろばは直営） ※学校が行う教育活動ではありません。	
事前登録	一斉受付日を設けて登録受付を行います。その後も随時受け付けます。 登録申込書は、学校を通して配布します。	

放課後子ども教室への参加は事前登録が必要です

(注1) 一体型 学童保育と放課後子ども教室を一体的に実施 (注2) 単独型 放課後子ども教室のみ実施

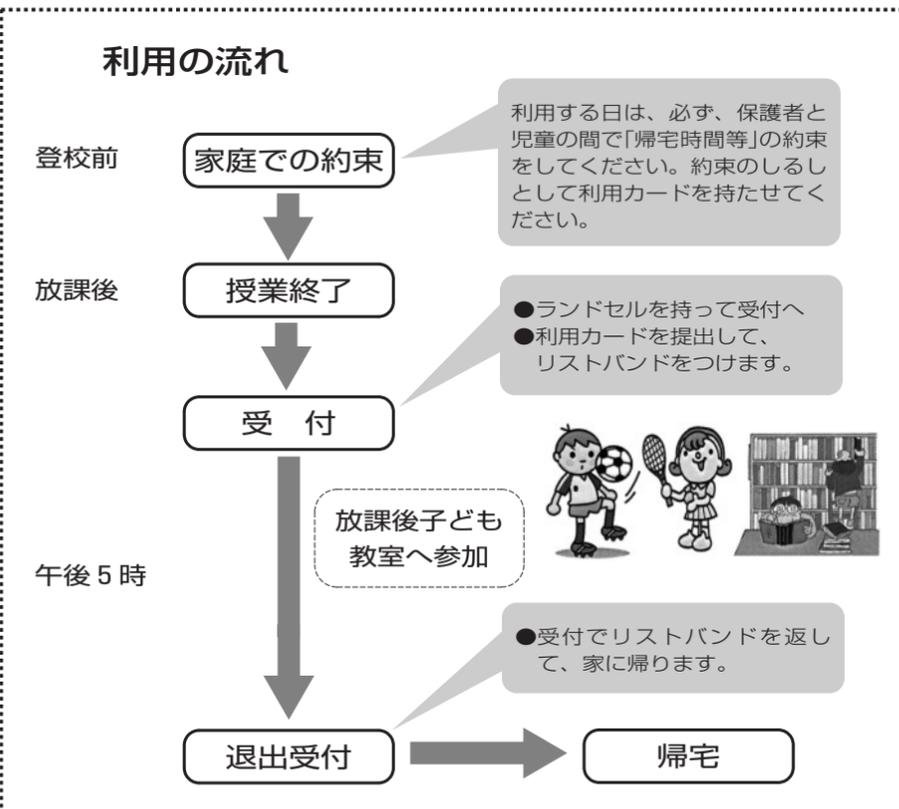
### 2 平成27年度実施校

実施形態	小学校名
一体型	中富・徳持・調布大塚・嶺町・洗足池・都南・矢口東・道塚 *梅田・*松仙・*羽田・*萩中・*西六郷*新宿
単独型	大森第三・大森東・馬込第二・東調布第三・小池・赤松・東糀谷・六郷・仲六郷

\*おおたっ子ひろばの施設内で実施する一体型の放課後子ども教室です。

### ■放課後子ども教室と学童保育の違い

	放課後子ども教室	学童保育
申請等	利用条件	—
	手続き	申込→登録
	費用負担（材料費除く）	—
利用時間	学校開校日（平日）	放課後～17時 (11～2月の間) 放課後～16時30分
	土曜	—
	学校休業日（夏休み等）	9時～ ※単独型は実施しない
	受付	当日受付
	学校からの直接利用	○
	一時帰宅後の利用	—
利用方法	利用中の中抜け	—
	入・退室時間の管理	—
	おやつ提供	—
担当	教育委員会	こども家庭部

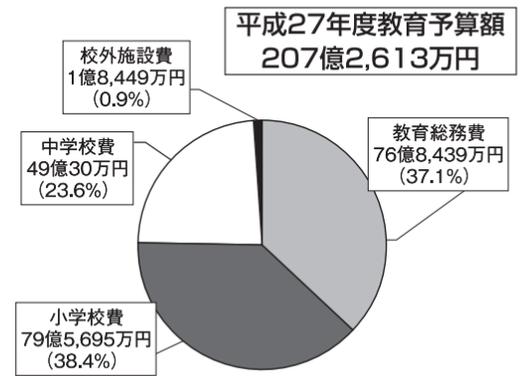


問合先 ■放課後子ども教室に関する問合せは  
大田区教育委員会事務局 教育総務課  
TEL 5744-1458 FAX 5744-1535  
■学童保育に関する問合せは  
大田区こども家庭部 子育て支援課  
TEL 5744-1273 FAX 5744-1525

# 平成27年度 教育予算のあらまし

平成27年度の教育関係の予算は、207億2,613万円です。一般会計予算に占める割合は、8.3%となりました。

大田区は平成27年4月1日付けの組織改正により、文化・スポーツ等に係る事業を教育委員会から区長部局に移管しました(3面に特集記事があります。)。教育委員会は、新たな執行体制のもと、これまで以上に区長部局と連携・協力し、「おおた未来プラン10年」及び「おおた教育振興プラン2014」に掲げた教育目標の実現に向けて、施策・事業に着実に取り組みます。



## ～学校教育の充実～

### ★国際理解教育の推進

9,306万円

現在、小学校第5学年から中学校第3学年までを対象としている外国語教育指導員の派遣を、小学校第1学年までに拡充し、全学年のコミュニケーション能力の向上を図ります。また平成26年度から実施している、外国語教育指導員と英語でコミュニケーションをとる「英語カフェ」等で英語に親しんだ児童が、区内の施設で1日疑似留学を体験する「イングリッシュキャンプ」を開催します。2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、国際都市おおたを担う大田の子どもを育成します。



▲道塚小学校 英語教室の様子

### ★体力向上の推進 545万円

「体力向上モデル校」を2校から12校(小学校9、中学校3)に拡充します。モデル校では、体育・健康教育の授業公開や体力調査結果に基づく体力向上の取組について報告します。また保護者や地域の方を対象に、体力向上の必要性等をテーマにした意見交換会等を実施します。さらに小学校のモデル校には、第1、2学年の体育指導を補助する体育指導補助員を派遣し、体育の授業を通じた運動遊び等を充実します。

### ★おおたサイエンススクールの授業公開等 78万円

平成23年度から東京工業大学との連携のもと、最先端の科学技術やICTの活用について専門家のアドバイスを活かし、児童の科学技術に対する関心・意欲の向上や知識・理解の定着を図ってきました。最終年度となる平成27年度は、理科教育研究推進校(おおたサイエンススクール)の授業公開や研究発表会を通して、研究の成果を区内の学校に広く還元・普及します。

### ★ICT活用推進校事業 2,631万円

区立小・中学校において、電子黒板やタブレット端末などのICT機器を積極的に授業に活用することで、児童・生徒の学力の定着と学ぶ意欲の喚起を目指します。平成27年度は小・中学校から各1校をモデ

ル校に選定し、本格整備に向けたICT活用の実践的研究を行います。

### ★特別支援教室(モデル校)の実施 1,794万円

「特別支援教室」は、拠点校に配置した教員がグループ内の学校を巡回し、発達障がいのある児童に指導を行う新たな特別支援教育の体制です。大田区では、東京都の特別支援教育の計画を受け、平成28年度からの特別支援教室全小学校での実施に向けて、環境整備を進めます。

また、平成27年度は、3グループ9校で特別支援教室のモデル事業を実施し、本格実施に備えた研究を行います。

### ★適応指導教室学習指導講師の配置 140万円

適応指導教室に数学と英語に係る学習指導講師を配置し、通室する生徒の学習時間に、よりきめ細かい指導補助を行うことで、履修遅れの回復と基礎学力の定着を図り、早期の在籍校復帰に繋がります。実施にあたっては適応指導教室指導員と学習指導講師が緊密に相談・連携し、一人ひとりに寄り添った指導を進めます。

### ○冊子(仮称)「幼児教育実践プログラム」の作成・発行 13万円

平成17年度の設立から10年の節目を迎える幼児教育センターで、これまでに展開してきた事業の成果を冊子化し、区内外の幼児教育機関・小学校に配布します。これにより幼児教育への理解や指導の工夫を啓発するとともに、幼児教育カリキュラムとして、日常の保育、教育を実践するうえで活用していただきます。

### ○子ども・子育て支援新制度への対応 1億7,990万円

幼児期の学校教育や保育、地域の子育て支援の量の拡充や質の向上を進めていくため、平成27年4月から子ども・子育て支援新制度が施行されることになりました。これに伴い、新制度に移行する私立幼稚園に対し、従来の就園奨励費に代わる施設型給付の円滑な給付事務を行うとともに、新制度に沿った支援を実施します。

### ★「小学校における放課後児童の居場所づくり事業」に基づく放課後子ども教室事業の実施 4億575万円(1面に特集記事があります。)

「放課後児童の居場所づくり事業」は、区立小学校において、学童保育事業と放課後子ども教室事業を一体的に実施するものです。放課後子ども教室は、当該小学校の児童に多様な体験・活動を通じて自主性や社会性を育むことを目的としています。教育委員会はこども家庭部と連携しながら、放課後子ども教室を各小学校で実施します。本事業を通して、放課後における児童の安全・安心な居場所を確保します。

## ～教育施設・環境の整備～

### ★計画的な小中学校校舎改築

18億7,395万円

施設の老朽化等に対応するため、計画的に校舎を改築します。平成27年度から年2校着手します。

#### (1) 嶺町小学校の改築

9,173万円

外構及び整地工事を行います。

#### (2) 東六郷小学校の改築

6億3,114万円

校舎改築工事に着手します。

#### (3) 志茂田小学校・志茂田中学校の改築 11億995万円

隣接した小・中学校を一体的に改築することにより、教育環境を充実するとともに経費の削減を図ります。平成27年度は志茂田小・中学校の仮設校舎の借上げ及び志茂田中学校の校舎改築工事に着手します。

#### (4) 大森第四小学校の改築 3,234万円

基本計画及び基本設計を行います。

#### (5) 入新井第一小学校の改築 440万円

基本構想及び基本計画の策定を行います。



▲嶺町小学校の体育館改修工事の様子

#### (6) 大森第七中学校の改築 440万円

基本構想及び基本計画の策定を行います。

### ★伊豆高原学園の管理運営 8,591万円

平成27年4月、新しい伊豆高原学園が開園します。小学校第5学年の移動教室の実施施設として利用するほか、学校が使用していない期間(金・土・日曜、ゴールデンウィーク、夏休み期間、年末年始、1月から4月中旬など)は、区民の方も利用できる宿泊施設として活用します。新しい学園は、PFI事業方式により民間事業者が運営します。

### ★図書館への公衆無線LANアクセスポイントの設置 107万円

平成26年4月までに、全ての図書館にインターネットパソコンを設置しました。平成27年度は、全館に公衆無線LANのアクセスポイントを設置し、学習環境のさらなる向上を図ります。

### ★図書館の改修・改築 2億7,481万円

老朽化が進んだ図書館について、建物の改築・改修を進めています。平成27年度は、六郷図書館の改築に伴う仮設施設の改修を行います。また下丸子図書館の耐震補強等改修工事等を実施します。

### ○小学校通学路防犯設備整備事業 2,901万円

平成26年度からの5年間で、区内の全小学校の通学路に防犯カメラを設置します。学校や地域が実施する通学路の見守り活動を補完し、より安全な防犯体制の確保に努めます。平成27年度は、15校の通学路にカメラを設置します。

事業名の前に★印が表記されているものは、「おおた未来プラン10年」「おおた教育振興プラン2014」に掲げる計画事業です。

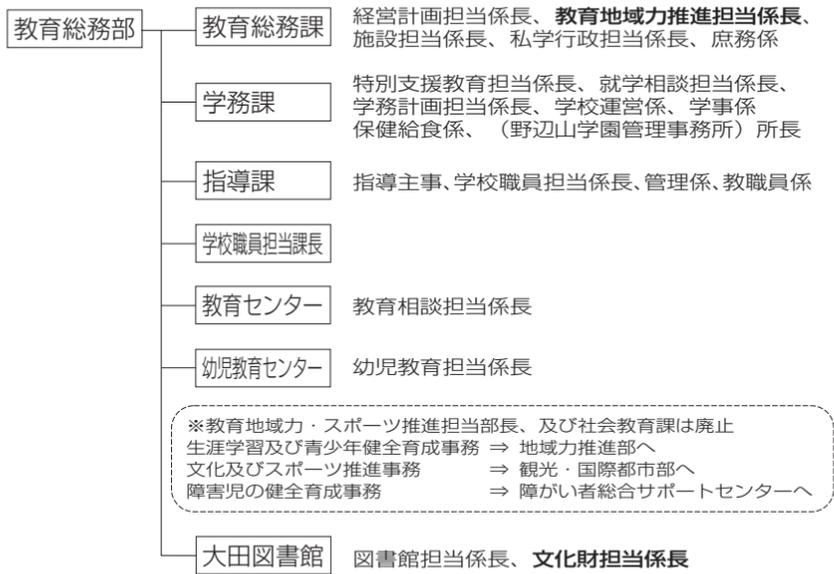
問合先 教育総務課庶務係 TEL 5744-1422 FAX 5744-1535

# 教育委員会の組織が変わります

大田区基本構想で掲げる将来像「地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する国際都市 おおた」の実現に向けて、スポーツ・文化事務等を関連する事務とあわせて一元的に管理、執行することにより、効果的、効率的に施策を推進することを目的とし、これまで教育委員会が所管してきたスポーツ・文化事務等については、区長の職務権限として事務を管理、執行することとなりました。

これにより教育委員会は、平成27年4月1日より下記の執行体制のもと、教育目標の実現に向けて、これまで以上に区長部局と連携・協力し、大田区の教育の充実をめざしてまいります。

## 《新しい組織図》



### 【主な改正点】

- ◆スポーツ・文化事務等の移管に伴い、「教育地域力・スポーツ推進担当部長」及び「社会教育課」を廃止し、地域力の活用による学校支援事務を「教育総務部長」及び「教育総務課長」が一元的に管理、執行する体制を整備しました。
- ◆社会教育課から教育総務課に移管する、地域力推進、学校施設の活用及び開放等に関する事務、及び新たに取り組む「放課後児童の居場所づくり事業」の担当事務を分掌するため、教育総務課に「教育地域力推進担当係長」を新設しました。
- ◆学務課では、伊豆高原学園の整備事務が終了することに伴い、「校外施設整備担当係長」を廃止、また、伊豆高原学園の指定管理者制度導入に伴い、「(伊豆高原学園管理事務所) 所長」を廃止しました。
- ◆「(郷土博物館) 館長」及び「(郷土博物館) 文化財・学芸担当係長」は、文化財の保護に関する事務を除く事務を「観光・国際都市部」に移管することに伴い、廃止しました。  
文化財の保護に関する事務は、「大田図書館長」が分掌するため、大田図書館に「文化財担当係長」を新設しました。

問合せ先 教育総務課経営計画担当 TEL 5744-1423 FAX 5744-1535

## 平成26年度大田区教育委員会

# 「教育実践功労者」表彰

## ～受賞者の紹介～

教育委員会では、区の教育の発展に貢献し、その功績が顕著で優れた教育実践を行った教員を「教育実践功労者」としてその功績をたたえ毎年表彰しています。平成26年度は、9名の方が受賞されました。今後も大田区の教育のためにご尽力いただき、子どもたちの健やかな成長を支えていただきたいと思います。

受賞者のコメント(上段)・表彰理由(下段)を紹介します。

東調布第一小学校 主幹教諭 町 岳

この賞は子どもたちや地域保護者の方々、そして何よりも同じ職場で働く仲間にも恵まれたおかげと感謝しています。全ての人から学ぶことが多い毎日です。

算数少人数指導の担当として、算数指導の基本を若手教員に授業公開を通して示し、学校全体のレベルアップを図った。区教研では、事前研修会などを積極的にを行い、教育的手法を使った授業の進め方を部員に指導した。研究発表会での運営プランの立案や若手教員への指導助言など学校の円滑な運営に貢献した。

田園調布小学校 栄養教諭 吉田智恵子

平成23年度より栄養教諭として子供たちの笑顔と保護者の方々、教職員の励ましに支えられ食育の推進を図ってきました。多くの方々のおかげです。ありがとうございました。

栄養教諭として、管理職及び委託会社調理スタッフ等との円滑な連携に努め、安心・安全・美味しい給食を継続して提供した。全学級で担任と協働し食育授業を展開する等食育を推進した。また、各校の食育リーダー等の育成・支援に貢献した。

雪谷小学校 主任教諭 湯浅 光子

子どもたちには、「自分がされてうれしいことをしよう。」と指導・支援を続けています。また、毎日元気に過ごせること、家族や職場、周りの方たちの支えに感謝しています。

学校生活をおくることが困難な児童に対し、愛情に満ちた生活指導を行い、3年生から5年生まで安定した生活を送らせた。また、地域やPTA活動に積極的に参加し、児童、保護者、地域関係者から絶大な信頼を得た。

羽田小学校 主幹教諭 佐々木順子

校長先生を始め、いつもご指導・ご協力を賜ります皆様へ改めて心から感謝申し上げます。これからも初心を忘れず、自分ができていることに全力を尽くして参ります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

東京都人権尊重教育研究推進校の研究発表を実施した際、研究主任として活躍し、同人の実践授業が東京都の人権教育プログラムに掲載されることになった。専門の算数科では区教研算数部の中心となり、今年度、区の授業改善リーダーとして授業を行い、学力の向上に貢献した。

仲六郷小学校 主任教諭 地濃 厚子

研究発表を通して、「チーム仲六」となって学べたことに大変感謝しています。これからも特別活動の「なすこと」によって学ぶ精神を忘れず、子ども達の笑顔があふれる学級、学校づくりに精進したいと思います。

平成23～26年度の4年間同校の研究主任を務め、研究推進校としての二年間では研究リーダーとして同校の目標達成に貢献した。長年に渡り、国語科を自分の専門領域として、研鑽を積み重ね、各種研究会や委員会において、指導的な役割を果たし、東京都や大田区の教育に貢献した。



矢口小学校 主任教諭 大橋ひろ美

人と繋がる楽しさが体感できるような場を作りたいと実践を続けてきました。このような賞をいただき、素敵な出会いと支えてくださったすべての方々に心から感謝します。

学校長の意を受け、家庭科専科の他に、5・6年生の外国語指導、1年生の算数科と多岐に渡る授業を担当し、貢献した。学校支援地域本部「フレンドリー矢口」の学習支援ボランティアを組織し、児童が興味をもち、意欲的に活動できるような指導体制づくりに取り組んだ。

田園調布中学校 主任教諭 高倉めぐみ

栄えある賞を頂き恐縮しております。生徒や同僚の方々から学ぶことが多い日々です。受賞に感謝し、気を引きしめて努力を継続していきたいと存じます。

学年主任として、若手教員を支えリーダーシップを十二分に発揮した。生徒や保護者の心情に寄り添いながら誠実に保護者対応、生徒指導に当たった。指示された事案に対して資料の準備、学年教員への指示、進行状況の管理などの対応が素早く、状況に応じた的確な判断を行う主任教諭の模範として貢献した。

大森第六中学校 主幹教諭 五十嵐 文

ユネスコスクールに加盟して4年。初めは手探り状態でしたが、教職員がみんなで防災や環境、国際理解教育に取り組んできました。その成果を認めていただき感謝しています。

主幹教諭として、国際理解教育の推進、防災教育の充実、平和教育、環境教育等の学校の事業に率先して取り組み貢献した。また、学校支援地域本部を担当し、地域・保護者等との連絡調整にその手腕を発揮した。

出雲中学校 主幹教諭 植木 清

大田区在勤中の様々な活動について、評価していただいたことに感謝しております。今後も、若手教員の育成、ICT教育の推進等の教育課題に力を注いでいきたいです。

主幹教諭として、他の教員の模範となる行動を示し、組織力向上に努め、同校の「OJT推進指定モデル校」においては、進路指導主任として「OJTの活用」研究で中心的役割を果たした。また、区教研情報教育部員として、「ICT機器の活用」の研究を進め、研究授業を主体的に行い、区のICT機器活用に貢献した。

受賞者の方々  
写真  
前列左から：町主幹教諭、吉田栄養教諭、湯浅主任教諭、佐々木主幹教諭、地濃主任教諭  
後列左から：大橋主任教諭、高倉主任教諭、五十嵐主幹教諭、植木主幹教諭

問合せ先 教育総務課庶務係  
TEL 5744-1422  
FAX 5744-1535

## 第3回小学生駅伝大会・第6回中学生「東京駅伝」大会が開催されました



平成26年12月26日(金)、大田スタジアム特設コースにおいて、第3回小学生駅伝大会が開催されました。区立小学校59校から5・6年生の代表児童約950名が参加して、各校の絆をつなぎ、日頃の体力向上への取組の成果を発揮していました。

大田スタジアムの観客席からは、3,500人を超える保護者や地域の方々からの熱い声援が響き渡り、大会を盛り上げていました。持っている力を全て出し切って走る児童の真剣な姿が、多くの人に感動を与えていました。午前の部の優勝は池雪小学校、午後の部の優勝は田園調布小学校でした。

中学校では、平成27年2月8日(日)に東京都の区市町村対抗による第6回中学生「東京駅伝」大会があり、大田区の選抜チームで参加しました。結果は女子の部8位、男子の部15位、総合の部8位でした。

第1回の小学生駅伝大会を経験した選手が出場するなど、小中一貫した体力向上の成果が見られました。

☎ 問合せ 指導課指導主事 TEL 5744-1435 FAX 5744-1665

## 平成27年4月1日からの区立図書館の指定管理者の指定について

大田図書館を除く地域館15館は、平成19年4月1日から指定管理者制度を導入しています。平成22年4月1日から開始した2期目の指定期間が平成27年3月31日で終了したため、下表の事業者を新たに指定管理者として指定しました。指定期間は、平成27年4月1日から平成32年3月31日までの5年間です。なお、蒲田駅前図書館につきましては、利用者サービスの向上を図るため、利用時間を延長し、午後8時まで開館いたします。

これからも、利用者サービスの一層の向上に指定管理者とともに取り組んでまいります。

☎ 問合せ 大田図書館 TEL 3758-3471 FAX 3758-3625

(指定管理者一覧)

	図書館名	指定管理者名
1	大森南	テルウェル東日本株式会社
2	大森東	株式会社有隣堂
3	大森西	テルウェル東日本株式会社
4	入新井	株式会社ブックチェーン
5	馬込	株式会社図書館流通センター
6	池上	共同事業体 JCS/NPTグループ (日本コンベンションサービス株式会社・野村不動産パートナーズ株式会社)
7	久が原	共同事業体 JCS/NPTグループ (日本コンベンションサービス株式会社・野村不動産パートナーズ株式会社)
8	洗足池	株式会社図書館流通センター
9	浜竹	テルウェル東日本株式会社
10	羽田	テルウェル東日本株式会社
11	六郷	テルウェル東日本株式会社
12	下丸子	株式会社ヴィアックス
13	多摩川	株式会社図書館流通センター
14	蒲田	共同事業体 JCS/NPTグループ (日本コンベンションサービス株式会社・野村不動産パートナーズ株式会社)
15	蒲田駅前	株式会社図書館流通センター

## 特別支援学級等のさらなる拡充に取り組みます

区では、障がいのある児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取り組みを支援するという視点に立ち、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、それに対応した適切な指導や支援を行うために、特別支援教育を推進しています。

### ●小学校9校で特別支援教室モデル事業を実施します。

担当教員が各校を巡回し、発達障がい等の児童の指導・相談を行う「特別支援教室」が平成28年度より小学校全校で実施される予定です。大田区ではこれに先立ち、4月から9校でモデル事業を実施します。  
○モデル校 大森第四・中富・大森第一・田園調布・調布大塚・雪谷・矢口・矢口西・多摩川小学校

### ●小・中学校合わせて4校に特別支援学級を新設します。

特別な支援が必要な児童・生徒が増加傾向にあることから、4月から特別支援学級を4校に新設します。

就学の相談は、随時受け付けています。教育センター就学相談(TEL 5748-1202)へ、お気軽にお問い合わせください。

今後も、一人ひとりの児童・生徒に対して、きめ細かな指導を実施し、安心して学べる環境の整備に取り組みます。

○新設校 知的障害学級(固定学級) 洗足池小学校・大森東中学校  
言語障害学級(通級) 東調布第三小学校  
情緒障害等学級(通級) 大森第十中学校

☎ 問合せ 学務課特別支援教育担当

TEL 5744-1440 FAX 5744-1536

## 給食費や学用品購入費の一部を援助します(就学援助)

### 対象

小・中学生のお子さんの保護者で、大田区にお住まいの方のうち、下記のいずれかに該当する方。

- ①生活保護を受けている(要保護認定者)
- ②同一生計を営む世帯全員の平成26年中の合計所得金額が認定基準所得金額に満たない(準要保護認定者)

《認定基準所得金額の目安》

世帯人数	2人	3人	4人	5人
認定基準所得	277万円	345万円	378万円	465万円

※あくまでも目安です。家族の年齢構成等によって異なります。

### 援助内容

- 認定された場合は、下表の内容が受けられます。ただし、認定区分・学年及び申請月によって費目や支給額は異なります。
- 要保護認定者(生活保護受給者)について、網掛け部分は生活保護費から支給されるため就学援助での支給はありません。
- 就学援助は、認定された方に就学援助費を支給するものであり、給食費や教材費等の学校納付金が免除されるものではありません。

○給食費(国立・都立・私立学校は除く) ○学用品費  
○新入学用品費(4月申請者のみ)  
○体育実技費(購入者のみ)  
○通学費(特別支援学級(固定)通学者のみ)

○校外授業費 ○移動教室参加費(参加者のみ)  
○修学旅行参加費(参加者のみ)  
○クラブ活動費(小学校4~6年生のみ)  
○卒業アルバム費(購入者のみ) ○医療費(対象疾病のみ)

### 申請方法

4月上旬に学校から配布する「平成27年度就学援助受給希望調査書(申請書)」を期日までに学校へ提出してください。なお、大田区以外の区市町村立及び国立・都立・私立小中学校に通っている場合は、下記までお問い合わせください。

☎ 問合せ 学務課学事係 TEL 5744-1429 FAX 5744-1536

## 教育委員会の主な議題

- ☐平成26年第12回定例会
  - 大田区スポーツ推進審議会条例の一部を改正する条例 ほか6件
- ☐平成27年第1回定例会
  - 大田区付属機関の構成員の報酬の額に関する規則の一部を改正する規則 ほか1件
- ☐平成27年第2回定例会
  - 大田区立教育センター条例施行規則の一部を改正する規則 ほか8件
- ☐平成27年第1回臨時会
  - 大田区立中萩中小学校指定校変更不許可決定に係る異議申立ての決定について ほか3件

## 教育委員会定例会の開催予定日

- ☐日時 平成27年4月22日(水)午後3時から ※予定が変更になる場合もあります。傍聴を希望される方は、あらかじめ下記までご確認ください。
- 平成27年5月12日(火)午後2時から
- 平成27年6月24日(水)午後2時から
- ☐場所 本庁舎6階教育委員会室

☎ 問合せ 教育総務課庶務係 TEL 5744-1422 FAX 5744-1535